学校番号	２１４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	（学）社会総合	単位数	２単位	年次	3 年次
使用教科書	歴史総合「近代から現代へ」　（山川出版）						
副教材等	新詳　歴史総合　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本を大陸と離れた「島国」としてではなく、世界の中の日本としてとらえよう。
さらに、現在の問題がなぜ生まれてきたのを、時間的・空間的な視点も含めて考えよう。
1 年次で十分に考察できなかった戦間期以降を考察しながら掘り下げ、国際社会における日本のあり方を考えよう。

2　学習の到達目標

【知識・及び技能】
近現代の歴史に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解することができる。
【思考力、判断力、表現力】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、議論したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を持つ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現在の国際問題が何故起きているのかを理解しようとしている。また、地理的・日本史的事象との関連も意識している。	世界史を学びながら日本史的・地理的事象との関連性を含めて多面的に考察し、現代社会の変化を公正に判断して、歴史的経過・結果や自らの意見を適切に表現できている。	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、論理的に追究する意欲を持つ。また、国際社会で責任を持って行動できる、日本国民としての資質を形成している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	国際秩序の変化や大衆化	第一次世界大戦 ロシア革命 大衆の政治参加	a 帝国主義がもたらした戦争の結果を多角的に考察しようとしている。 b 第一次世界大戦後の民族運動や社会主義運動の過程を理解している。 世界恐慌後の全体主義の台頭の過程を考察しようとしている。 c 悲惨な戦争を、加害者や被害者の立場だけで捉えるのではなく、多角的な視点から考えようとしている。	定期考査	レポート 定期考査	グループワーク
1〜2学期	グローバル化と私たち	アジア・アフリカの民族運動 世界恐慌と第二次世界大戦		定期考査	レポート 定期考査	グループワーク
3学期		これまでの問題演習と グループ討論など	abc　全分野についての関連や因果関係を掘り下げ、考察しようとしている。	レポート	レポート	グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度